

メトロ口任せにせず安全確保を

都市経済委員会会で山中議員

9月22日の都市経済委員会
間で500人近い職員の
てきました。

員会で山中智子議員は、
大阪メトロが「業務効率
化」の名で進める職員削
減と乗客や市民の安全確
保の問題などについて質
問しました。

大阪メトロは「中期経
営計画」に基づいて5年
間で500人近い職員の
削減を計画し、今里筋線
ではことし4月から駅員
が1人体制になっていま
す。大阪メトロや市都市
交通局はこれまで「1人
で対応可能なマニュアル
を整備しており、安全性
は低下しない」と説明し

てきました。

いくつかの駅を回って
実情を調べた山中氏は、
改札には駅員がおらず、
駅長室で話を聞いたこと
を紹介。駅員からは「お
客さんから呼び出しがあ
って行っている時は、駅
長室は空になる」「心細
い。でもこれ以上は私の
口からは言えない。会社
の方針なので」との声が
寄せられたと述べまし
た。

軽量化されてはいるもの
の、大きいので1人で運
ぶのはかなり厳しいのが
現実で、マニュアル通り
にいかないことが重なれ
ば大変なことになると警
告。「いざという時には
1人で背負わなければな
らない。大阪メトロ任せ
ではなく、都市交通局と
して駅員の声を聞き、実
際に安全が守られている
のか、見てほしい」と求
めました。

さらに駅への浸水を防
ぐための止水ボードは、



質問する山中議員＝
9月22日、大阪市議
会都市経済委員会